

ひょうごの子育てを楽しむ
情報誌



vol.5
2015
AUTUMN
WINTER

公益社団法人 兵庫県保育協会

絵本
特集



絵本

絵本が育む豊かな心

子どもの考える力や創造する力を育む絵本。とっておきの一冊との出会いは、かけがえのないものです。



絵本がどうして必要か？

「絵本は幼児期に不可欠なもの」と、よく言われます。では、本当に絵本は幼児期に必要なものでしょうか？私の持論ですが、絵本はなくとも子どもを育てることはできます。その根拠は、絵本がない時代の方が圧倒的に長かったからです。日本で人々が今のようによくさまざまな絵本と出会う機会が増えたのは、まだ100年にも満たないごく最近の話なのですから。絵本のない時代に過ごした子どもたち、人々が、私たちと比べ性格や考え方も歪み、生きる力も弱っていたのでしょうか？もちろん、そんなことはありません。では、絵本は幼児期に不可欠なもの、ではないのでしょうか？

絵本を活用しよう！

今、さまざまな絵本がある豊かな時代です。そこには絵本がない時代に生きた人々、子どもたちには経験し得ない素晴らしい出会いが待っています。考えてみてください。生まれてまだわずか数年の子どもたちです。まだ、自分で経験できることは、ほんのわずかな機会しか持ち合わせていません。よく、絵本は代理体験ができる、追体験ができる世界であると言います。わずかな機会しか持ち合わせない子どもたちだからこそ、さまざまな絵本に出会い、想像の翼を広げ、素晴らしい体験をさせてあげてほしいと考えています。今、さまざまな絵本がある豊かな時代です。だからこそ利用しましょう！活用しましょう！絵本で素晴らしい世界を共有できるチャンスです。流行の言葉でわかりやすくメッセージをひとつ。“絵本読むならいつ読むの？今でしょ！”



(株)チャイルド本社
絵本第一編集部
保育絵本研究室長

たかさき まこと
高崎 真

絵本を通して育つもの

「絵本を通して育つものは何か？」という問いがあります。よく知られているものは…想像力、国語力、読解力、知的好奇心、興味、知識欲、聴く力、文字が読めるようになる、文字が書けるようになる、色彩感覚、表現力、集中力、意欲…数多のジャンルが絵本を通し育つものとして認識されています。確かにその通りでしょう。きっと間違いありません。でも、それらは勝手に育つ訳ではありません。ただ子どもに絵本を買い与えたり、漫然と読んでいれば全員に育つものではありません。

折角の絵本もすべては出会いの“タイミング”がその読み味を分けます。その絵本とどんな出会い方をしたのか、どんな出会わせ方をさせてあげられたのかで大きく違ってきます。

先に、絵本を利用しましょう！活用しましょう！と書きました。絵本をより活かす、キーワードは“遊び”と“タイミング”です。

どのようにして絵本との出会いを作るのか？

絵本を読む時に“遊び”を通して“タイミング”良い機会を作ったりすることで、子どもたちにとっての読み味は大きく変わってくるはずですよ。

遊びから自然に興味や工夫が、意欲が生まれるのは子どもも大人も同じです。保育の中では日常当たり前のようには行われています。行事の前にはその行事に関連した絵本を読む、例えば豆まきの前にサンタさんの絵本は決して読まないのです。絵本を行事の導入として使うことはよくあります。それと同様に、絵本を読む前に導入としてその絵本が自然と読みたくなるような、より楽しめるような“遊び”を“タイミング”良く導入として取り入れると、子どもたちの興味の芽はより自然に育つはずですよ。

絵本は“読み聞かせるもの”ではありません。絵本活用法の根本は“遊びから始まり、やがて自然に学びへと繋がる”です。

どんな絵本を選ぶか

人の興味はさまざまです。親と子ども、もちろん兄弟同士でも。

このように考えてはどうでしょう？どんな絵本を読んでもますますな出会いと発見にあふれています。ですから、絵本はその子の今を写す“写し鏡”、もしくは“リトマス試験紙”であると。その子が今何に興味があるのか、どう感じているのかわかるものと考えたら、より子どもと大人が相互に理解し合えるきっかけを与えてくれる架け橋になるのでは、と。

「車の本ばかり!」「またこの絵本?前に読んでしょ?」などと言わずに、あ、この子はこれがお気に入りなんだ、今度は電車に興味に移ったんだ、と理解してあげながら、お母さんの好きな絵本もいい?かわりばんこだよ!と遊びにしながら読みたい絵本を読むタイミング作りもできますね。

これだけたくさんの方がいて、みんなが同じものを同じように感じるわけがありません。結びに金子みすゞさんの素敵な言葉を、私たちの道標に。“みんな違って みんないい”

高崎先生おすすめの絵本



月刊総合保育絵本 チャイルドブックがくしゅう版
かんがえる
チャイルド本社刊
保育の五領域が毎月バランス良く編集されている月刊の総合保育絵本。就学前の子どもにぴったりの内容。表紙から裏表紙まで遊びがたっぷり。遊びから自然に生まれる学びを大切にしています。



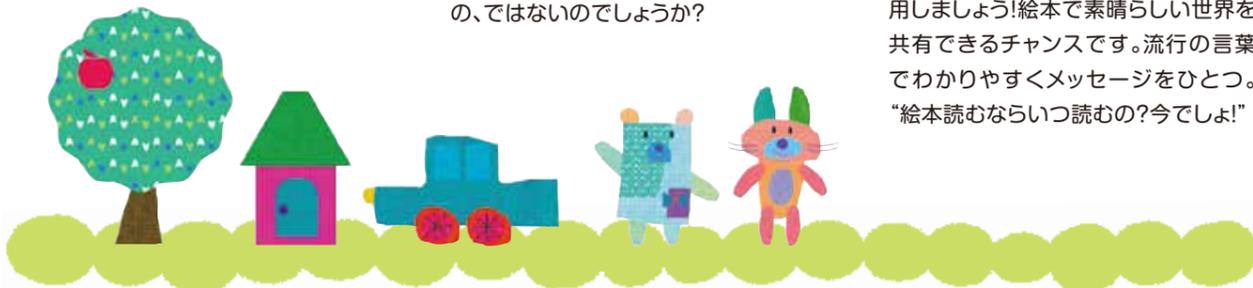
おべんとうバス
作・絵/真珠 まりこ
ひさかたチャイルド刊
小さな子どもなら誰でも楽しめるベストセラー絵本。次々と元気にバスに乗り込むおべんとうのおかずさんたち。次は誰かな?期待が膨らみ、食欲も膨らむ間違いなく元気が出る絵本。



どうぞのいす
作/香山 美子 絵/柿本 幸造
ひさかたチャイルド刊
長年にわたり読み継がれている不朽の名作。柔らかな言葉の響きと優しい絵に、誰もが読み終えた後、ほっと心が温まるお話。他者を思いやる心が芽生えるハートフルな絵本。



ざりがにのはさみ
撮影/榎本 功
ひさかたチャイルド刊
子どもにとって、写真も絵と同じ。ありのままに伝わる自然の素晴らしさ、魅力がいっぱいの絵本。ざりがにの魅力が細部まで伝わる絵本。現在内容をリメイクし、『ほくは ざりがに』として出版中。



保育士レポート

笑顔 み～つけたっ!

保育園での
子どもたちの様子を
紹介します。

笑顔いっぱい 泥んこだーい好き

水たまりの中にしゃがみこんで、お友だちと夢中で泥遊び。気がつくとおしりはどっぴりと水につかりどろどろ。パンツまでびっしょりになって大胆に遊んでいます。

5歳児クラスになると、山作りや川作りなどの遊びに発展し、水の流れ方をよく見たり考えたりしつつのまに共同作品ができていくことも…。それを見て年下クラスも真似をしたりと、異年齢で遊ぶ楽しい時間にもなっています。



思わず触りたくなるような魅力的な泥遊びに心も体も開放して「とろとろ〜!」「気持ちいいね」など笑顔がたくさん見られます。

泥パックやぁ!

川西市／あおい宙川西保育園

泥んこレストラン OPEN!

汗ばむ季節になると、楽しくなるのが“水・泥んこ遊び”。にぎやかな声が聞こえるテーブルは、レストランの厨房でした。「パン焼きます」と泥を捏ね、「混ぜとくわ」と、こぼさないようにスープを混ぜたり、とにかく忙しそう。

オススメを尋ねると「青のりふりかけ!」と子ども達。夢中でザルに葉をすりつけ、出来た物は、まさに青のり。泥団子にふりかけるとタコ焼きの出来上がり!想像力を膨らませ、工夫しながら遊んだ分だけ、みんなの服が泥んこになっていました。



明石市／わかば保育園

カエルさん、
元気でね。
バイバイ!

草すべりは最高!

土手で草すべりはサイコー!小さい子は大きい子の滑り方を見て真似たり目標にしながら「できるかな?」と迷いながらも遊ぶうちに安全に遊ぶための約束、順番を守るなどが自然に身につきました。

帰り道は、汗と汚れで真っ黒になった手をつないで、異年齢児との関わりを深めながら歩きました。いろいろな自然体験の中で、五感をしっかりと働かせ、好奇心旺盛な子どもたちをたくさん増やしていけるといいなあと思っています。



淡路市／塩田保育園

みんなで
よーいどん

ひまわり会でクッキング

3〜5歳児の異年齢交流「ひまわり会」を始めて早18年目。子どもたちのリクエストから成り立つコーナー遊びが中心ですが、今年はカレー作りに挑戦!年長児は3・4歳児のことを気かけ、野菜の皮のむき方や切り方を教えたり、食べる時にも声をかけたりと、思いやりが沢山見られたクッキングになりました。至れり尽くせりの年長児の優しさに触れ、味わたったカレーは最高に美味しかったことでしょう。子どもたちの思いや役割が自然と引き継がれてきたひまわり会の良さを改めて感じたひとときでした。



三田市／三田保育所

熱いから
気をつけてね

カエルさん、 また南保育園に来てね!

「何を食べるの?」「足が生えてきたよ!」「かっこいい顔に変わってきた!」「背中が緑色になりよる!」「シッコが昨日の半分になってる!」。田んぼでつけたオタマジャクシの生長の面白さに目を輝かせる子どもたちです。

「シッコが全部なくなったら、元の田んぼに返してあげよう」とみんなで相談し、ついにやってきたその日。「お友達と仲良くね」「へびが来たら隠れるんやで」と言葉を掛けて、さよならをしました。



丹波の豊かな自然が、子どもたちにたくさんの好奇心や、小さな命の大切さを教えてくれます。

丹波市／
氷上町南保育園

パワーアップタイムで心も体も!

朝の登園が終わり、みんなの顔が揃うといつものあの曲が園庭や園舎に聴こえてきます。毎朝15分間のパワーアップタイムのはじまり〜!

縄跳び、鬼ごっこ、鉄棒、かけっこ、ヨガ、動物変身あそびなど年齢に合わせて、時には異年齢で楽しく体を動かしています。

健康な体づくりだけでなく挑戦意欲や達成感、そして友達とのコミュニケーションがしっかりとれるようにと、朝のこの時間を大切に考えています。友だちと一緒に楽しんで体を動かす事で、心も体も健やかに!



今日はヨガ!
木になれえ〜

豊岡市／豊岡市立西保育園

じいちゃん、ばあちゃんと七夕会

7月7日は七夕会。近所の老人クラブとデイサービス利用の方を招待しました。

「みんなの笑顔見たら元気が出て長生きできそうや」「ほんまに嬉しい日になった。みんなみんなありがと」と話される高齢者の方を見ながら、子どもたちもにっこり、穏やかな顔になります。

じいちゃん、ばあちゃんに笹飾りを手伝ってもらい、七夕のお話を楽しんで「ささのはさーらさー」と一緒に歌いながら空に願



い事をしました。伝統行事と人のあたたかさを体いっぱい感じた一日でした。

よよし

じいちゃん
高いとこしてな!

宍粟市／城東保育所

みんなで力を合わせて作ったよ!

新しい玩具に興味津々の子どもたち。初めは車やロボットを作っていた楽しんでいましたが、ある日ブロックで作った大きなお城の写真を見て大興奮。「ゆり組の皆で作ってみたい!」と子どもたちは目を輝かせていました。

早速作り始めると、ブロックを色ごとに分ける子や「私こっちするから、そっちお願い」と子どもたちで役割分担。

一番上には双眼鏡や大砲、キリンなど好きなものを作り、お城の完成!使ったブロックはなんと8箱!出来上がったお城の中に入ったり、ごっこ遊びを楽しみました。



大きなお城の
完成〜!!

三木市／あけぼの保育園

園だより

我が保育園
自慢の取り組みを紹介します。

●姫学こども園 [福崎町]

自然と仲良し 皆ともだち



“赤いとんがり帽子の時計台” “とんがり帽子のわんぱく” オブジェと金二郎さんが目印の姫学こども園。平成27年4月に、幼保連携型認定こども園として移行しました。四季折々の花と果樹があり、子どもたちは、自然と仲良しになり、季節を感じながら一人一人が伸び伸びと育っています。



「こうかな〜?」友達とア
ロママッサージ、気持ち
良いです。



園庭の果樹に赤くなった
実や野菜等を取って、季
節を感じます。



トランポリンの上で身体
を動かし気分爽快、和太
鼓等も楽しんでいます。

姫学こども園

福崎町南原2062 ☎0790-22-5480

●宝塚じあい保育園 [宝塚市]

慈しまれて、愛されて



平成26年4月に宝塚の丘の住宅地に開園。0歳〜5歳までの120人の子どもたちが通ってきています。

慈しまれて、愛されて、子どもたちは大きくなります。家庭のように安心できる環境で一人一人の子どもを大切に心のこもった専門性の高い育児を心掛けています。



大好きな人のわらべうたの
声が、優しく心地よく情緒も
安定します。



太陽と風をいっぱい浴びて
屋上園庭で、樹木や花の中で
遊びます。



畑でじゃがいも掘り。クック
キングでじゃがいもピザを
作ります。

宝塚じあい保育園

宝塚市売布1-17-7 ☎0797-26-8881

相生市の伝統を継承! ペーロン船

漕ぎ出せ!
勝利の海へ



保育士たちが、卒園児への思い出作りをどうするかについて、悩んでいたとき、少年ペーロン団との出会いがありました。仲間づくりや忍耐、努力、そして協力し合うことの大切さなど、生きる力の根本になると確信し、取り組んできました。そこでふち当たってしまったのが参加条件が「小学生から」という年齢の壁。1年間、体力づくりを頑張り、やっと乗船が叶いました。あこがれのペーロン船に乗って大海原へこぎ出すときの年長さんの凛々しさに、大人たちは感涙。お泊まり保育とペーロン船乗船の“鍛えの夏”が過ぎると、眩しいほどに成長した子どもたちは、運動会に突入していきます。毎年、前向きにひたすら頑張る子どもたちの姿を目の当たりにしながら、伝統行事の普及にも尽力しています。

●相生市/
認定こども園 どんぐりの家



100%、
頑張った

地域とつながる保育園

保育園では、積極的に地域の行事に参加しています。地域で子どもを育てる社会づくりに取り組み、子どもたちにとっても人とのつながりを学ぶ良い機会にもなっています。

みんなで
スマイル
vol.5

いつもありがとう!

城崎こども園のある城崎町湯島地区では、地域の高齢者を労うための養老会が江戸時代から続いています。毎年、そのオープニングで4歳児きりんぐみの子どもたちが歓迎の言葉でお迎えし、演技を披露して楽しんでいただいています。

おじいちゃん、おばあちゃんから「がんばれ〜」「かわいいね」「ありがとう」と声援を受けて子どもたちもとってもうれしそうです。養老会が終わってからも、町で出会うと声を掛けてもらったり、一緒に外湯に入ったりと、子どもと高齢者をつなげる機会になっています。

園内の活動だけでなく、地域へ積極的に出掛けていくことで「地域の子どもは地域で育てる」こと、そして町全体が一つの家族のようになる橋渡しができればいいなと思っています。

●豊岡市/城崎こども園

上手に
踊れてる
でしょ♪



いつまでも
元気でね!



はしご車
すごいな〜!



消防隊員さんと
一緒に

地域の避難訓練に参加したよ

地域とも連携を図りながら、子どもの連続した成長を支援していくための加古川教育振興基本計画の取り組み「中学校区連携ユニット12」。その一つ、氷丘ユニット「いのちの教育」で、災害時に安全・迅速に対応できる能力を身につけさせるために、合同避難訓練が実施されました。子どもたちは、近くの小学校まで避難かごに乗り、避難経路を確認しながら、園から小学校まで移動しました。救助訓練では、大きなはしご車を目の当たりにしてびっくり。

ユニット活動を通して他種校間、家庭、地域との連携のもと災害に対する姿勢を育みました。園内でも、防災や災害に対する意識が高まる内容を盛り込んだ避難訓練に取り組めるようになっています。

●加古川市/あかり保育園



SMILE



保育人材職業紹介所 厚生労働大臣 許可番号 28-1-300569

兵庫県保育士・ 保育所支援センター

保育の職場で働きたい方と
人材を求める保育所をつなぎます。

求職登録

求職票(ホームページでダウンロード可)を記入してお申し込みください

求人情報提供・相談

求人情報はホームページからご覧いただけます

紹介

希望の保育所に当センターから紹介状を発行します

応募・面接

応募書類を直接面接先に持参または郵送してください

採用

就職が決定したら、求職登録を取り下げますのでご連絡ください

公益社団法人兵庫県保育協会
兵庫県保育士・保育所支援センター
TEL.078-242-4637 FAX.078-242-4737

神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター6F
Eメール hokyo-center@apricot.ocn.ne.jp
詳しくは 兵庫県保育協会 検索



保育園で人気のメニュー



（しっとり食べやすい！ 鮭のコーンマヨネーズ焼き）



鮭に含まれる
脂肪酸(DHA、EPA)は、
学習・記憶能力アップ
をサポート

■材料

鮭……4切(1切れ約40g) マヨネーズ……大さじ4
塩、コショウ……少々 酢……小さじ1
コーン(粒)缶……10g 薄口醤油……小さじ1
コーンクリーム缶……10g 粉チーズ……適宜
タマネギ……中玉1/4個 パセリ……ひとつまみ

■作り方

- ①鮭は表面の水気をキッチンペーパーで拭き取り、表面に塩コショウを振りかけて、アルミカップに入れておく。
- ②タマネギはみじん切りにし、透明になるまで炒めて、水気を切っておく。
- ③ボウルに②と、コーン缶、コーンクリーム、マヨネーズ・粉チーズ、パセリを入れて混ぜ合わせ、酢と醤油で味を調える。
- ④①の上に③をたっぷりのせて、160℃のオーブンで10分程焼き上げたら、出来上がり(焼き時間は魚の大きさによって調整)。

◎提供:丹波市/認定こども園さちよ

（シュワッとはじける！ シュワプルゼリー）



ぶどうに含まれる
ブドウ糖は、
疲労回復にぴったり!

■材料(10人分)

〈カルピスゼリー〉 カルピスソーダ……150cc
寒天スティック……2g 水……100cc
〈ぶどうゼリー〉 ぶどうジュース……400cc
粉ゼラチン……12g 砂糖……5g

■作り方

- ①寒天と水を沸騰させ、溶けたら粗熱をとり、カルピスソーダを混ぜる。
- ②ぶどうジュースと砂糖を火にかけ、沸騰直前で火を止め、粉ゼラチンを加えて溶かす。
- ③①と②をそれぞれ少しとろみがつくまで冷蔵庫で冷やす。
- ④型に③で冷やした②を流し入れて冷やし、少し固まれば、①を流し入れて冷やし、少し固まれば、再度②を流し入れる。
- ⑤最後に全体を冷蔵庫で冷やし固めたら出来上がり。好みを果物をトッピングしてもGood!

◎提供:高砂市/真浄寺保育園

とっても簡単！手作りおもちゃ



「コロコロまてまて」

■作り方

- ①ペットボトル(丸いもの)にビーズ、ビー玉、スパンコールなどを適量に入れる。
- ②水を入れる。(絵の具で薄く色をつけるとキレイ!)
- ③水が漏れないように、ビニールテープで蓋をまく。

■遊び方

ずりばい、よつばいを始めた頃に子どもの前に転がすと、よく追いかけて遊びます。ペットボトルの中に入れた飾りも、おもちゃの動きに合わせてコロコロ動くので、振ってあげても楽しく遊べます。

◎提供:尼崎市/ゆりかご保育園

